



天領庄屋の旧家

室木邸

明治の館

七尾市指定文化財



明治に還る^{かえ}

室木家は古くからこの一帯の草分け百姓として大きな権威をもち、百姓代や組頭を勤め、藩政末期には庄屋となり草高四百石余を有した大地主です。広大な山林を所有し、さらに廻船業、酒造業も営み、江戸から明治にかけて隆盛を極めた家柄です。この建物は柱の数を少なく客室を広く利用できるようにした様式で、明治十二年から十年余りの歳月をかけて造られました。豪壮な合掌組入母屋造りの茅葺屋根、目を見張る柱や梁の太さ、百年余りの歳月を感じさせない美しい塗りなど、用材の立派さと名工の手の跡に和風建築の粋が凝縮されています。

Muroki House

The Muroki Family gained respect as descendants of the pioneers in this area, and became head of Sode Village in the Edo Period. They owned a vast forest, managed trade and sake production, and made a fortune. This house was built from 1879 to 1890. It is a masterpiece of Japanese-style construction, featuring a big thatched roof, massive pillars, beams, and beautiful lacquer.

使用料		1日	半日
文化的会合 催物などに	入場料の伴う場合	13,000円	6,700円
	上記以外の場合	4,000円	2,000円

※営利を目的とする貸し館の場合は、上欄の使用料となります。
※暖房使用の際は、3割増しとなります。

入館料	一般	個人	300円
		団体	200円
小・中・高生		個人	100円
		団体	50円

※団体は20名以上です。
※年齢に達しない方は無料となります。

- 開館時間/午前9:00~午後5:00 (入館は午後4:30迄)
- 休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)及び12月11日~3月10日
- 所在地/〒929-2213 石川県七尾市中島町外ナ部13番地
- 問合せ先/明治の館 TEL/FAX (0767)66-0175
七尾市教育委員会文化課
TEL(0767)53-8437 FAX(0767)52-5194

交通案内

- のと鉄道
西岸駅より
徒歩10分
- 能登有料道路
横田I.C.より
国道249号線を
穴水方面へ
車で10分
- 国民宿舎
能登小牧台より
徒歩15分
車で5分

囲炉裏いろり

アテ材を使用し、入り方式の形式となっている囲炉裏です。薪が焚かれ、その煙と乾いた空気が合掌組の屋根裏へ昇り茅葺屋根を保護しています。



座敷ざしき

上、中、下と三室が並ぶ格式のある座敷です。上座敷は黒柿と黒壇の床の間に付書院、露板の施された正式な造り。下座敷は略式で、床脇に中国風の半円形障子が入っています。



梁と用材はりようざい

太く大きな梁の四丁組。曲がった大木をがっしり組み合わせた技法に豪邸の風格を感じます。柱、平物、縁板、建具等全て檜材を使って豪華に仕上げられています。戸は檜の一枚板で直径二メートル幹周り六メートル以上の大木を使用しています。



佛間ぶつま

式台から入ると、その奥は格天井の佛間。佛壇の間の襖は、上部がゆるやかな曲線をもたせた凝った造りです。真直な材を曲げるのではなく広い材から曲面を型取って造ったものです。



庭園ていえん

主屋の西側にある庭は座敷から眺めることができ南北に長い池泉回遊式の庭園です。池は羽を広げた鶴を形取り、亀の頭のような石がせり出して背に当たる部分に木が植栽されていて、鶴亀の泉水と呼ばれています。



米蔵こめぐら

この蔵は平成19年の能登半島地震で大きな被害を受けましたが、この度修復して民俗資料展示室として、収集した民俗資料の展示を行っています。

